

放課後等デイサービスにおける運動療育の有効性

～札幌市 白石区での実践～

○北翔大学北方圏学術情報センター学外研究員

株式会社 UniversalSports

UniversalGYM

後藤 英樹

○北柔会

UniversalGYM

上野 巴恵

【研究の目的】

全国的に放課後等デイサービスの過密地域である札幌市において、近年サービス提供内容が多様化している現状にある。「遊び」をメインにしたものから「学習型」絵画などをメインにした「文化活動型」更には就労を意識した「就労移行型」そして運動を取り入れた「運動型」など事業所数の増加とともに事業内容の多様性が生まれている。

本研究の目的は、a)運動型を利用する児童の特性と保護者の意向 b)運動型療育のアプローチによる児童の変化 の 2 点に着目し、その実践課程を考察し今後の課題を報告したい。

【対象事業所概要】

1) 対象企業及び事業所

・株式会社 UniversalSports

・多機能型事業所 UniversalKids

(児童発達支援事業所＋放課後等デイサービス)

札幌市白石区菊水元町 9 条 2 丁目 2-1

2) 放課後等デイサービス概要

利用定員—10 名(1 日)

職員配置—管理者 1 名

児童発達支援管理責任者 1 名

保育士 2 名

児童指導員 2 名

指導員 2 名

3) 通所児童状況

放課後等デイサービス(登録状況)

小学 1 年生	5名	小学 2 年生	4名
小学 3 年生	1名	小学 4 年生	2名
小学 5 年生	1名	小学 6 年生	0名
中学 1 年生	0名	中学 2 年生	0名
中学 3 年生	1名		
高校 1 年生	0名	高校 2 年生	1名
高校 3 年生	0名		

登録者数 合計 15名(2019.7.1 現在)

4) 事業内容①

多機能型事業所 コンパニアルキッズ

Universal Kids

どんなところ？

Universal Kidsは、乳幼児から18歳までの療育・支援の必要なお子様を対象とした、児童発達支援・放課後等デイサービスです。

ホームページでもご紹介しております▶

どんなことをするの？

一人ひとりの個性を大切に、好きなことや得意なことを療育に応用しながらお子様の成長が促されるように支援を行います。(個別支援)

Universal Kidsの施設内には、国際基準の柔道マットフィールドが設置されており、そのフィールドで、空手・柔道・柔術の動きを取り入れ、畳の上で思いっきり身体を動かして武道に熱れ合います。

武術のように特有の型の決まった動きは、バランス、タイミング、動きのつながり、結果の予測など脳の幅広い部位を活性化されます。取り組み方一つで怪我をしたり痛い思いをすることで本能的に持っている闘争・逃走反応が起り集中力が高まるなど様々な効果があります。

公園や散歩へ出かけたり、社会見学等外出の機会を多く設け、様々な発見や体験を共感し、心身ともに豊かな成長を促します。(戸外・集団活動)

お買いもの・お割付けやお片付け(整理整頓)・食育クッキング・おやつ作り等を通して、将来の自立した生活の基盤を学びます。

スケジュール

基本的な1日のスケジュールをご紹介します！

9:00 送迎・順次来所
 9:45 朝の会(挨拶・絵本・歌・リズム体操)
 10:00 個別課題・集団活動・バルシューレ・
 戸外活動・クッキング等その日の活動
 (工作・絵・体系・感触遊び・知育遊び・公園・散歩・リレー等)
 11:45 昼食

13:00 送迎・学年順次来所・自由遊び・宿題等

15:00 おやつ(おやつ作りも行います)

15:30 室内活動・戸外活動・バルシューレ等

(個別・集団活動・製作・運動遊び・武術・好きなこと等)

16:45 帰りの会(お話し・絵本・音楽・体操)

17:00 送迎・帰宅

※ABA, SST, 視覚的要素などを取り入れ、日常生活製作や感覚統合、運動機能の向上を支援します。

バルシューレとは！

「全ての子どもにスポーツを」という趣旨で始まり、ボール運動指導プログラムとして、世界に広まりはじめています。

バルシューレには「自由にプレーさせる」という方針があり、子どもたちは遊びのように自由に夢中にプレーしながら、多様な運動経験やゲーム経験を獲得することで、身体機能や認知機能を調和的に発達させていきます。

ドイツで生まれた

最新スポーツ科学を取り入れた
ボール運動プログラムです！

事業内容②

2019.6 月予定表

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1
					お出かけ
3	4	5	6	7	8
柔道	運動ゲーム	制作	バルシューレ	おやつクッキング	お出かけ
10	11	12	13	14	15
リズム遊び	空手	体幹トレーニング	柔道	運動ゲーム	お出かけ
17	18	19	20	21	22
制作	バルシューレ	リズム遊び	おやつクッキング	バースディパーティー	お出かけ
24	25	26	27	28	29
空手	体幹トレーニング	柔道	運動ゲーム	制作	お出かけ

4) 運動療育アプローチ

①実践内容～柔道～

○礼儀作法

○回転運動 など



②実践内容～空手～

○基本稽古

○移動稽古

○ミット打ち など



③実践内容～バルシューレ～

○風船キャッチ

○ねことネズミ など



④実践内容～運動ゲーム～

○アスレチック

○サーキットトレーニング など

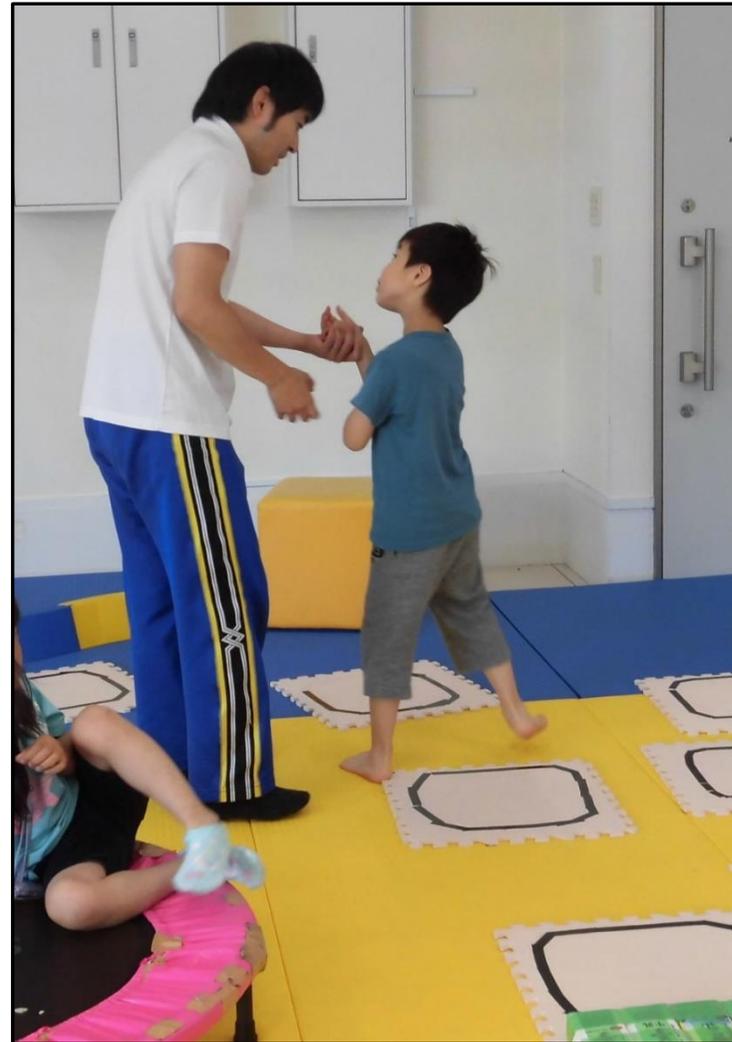
⑤実践内容～リズム遊び～

○リトミック など

⑥実践内容～体幹トレーニング～

○体幹・バランストレーニング

など



【児童の特性と保護者のニーズ】

通所利用児童はそれぞれ何らかの障害を持ち、障害児受給者証の交付を受けている。対象事業所に通所する児童は、発達障害児童が主であり、身体障害児童の利用はゼロである。

また、保護者からの聞き取りを行うと次のような理由により対象事業所が選択されている。

- 学習は別の事業所で行い身体を使うことをメインに考えている。
- カリキュラムが厳しい事業所では、児童の負担が大きくなり通えなくなったため利用したい。
- 武道等の習い事は敷居が高く、さわりだけでも体験できることが嬉しい。

などの声が聞かれる。

【考察と課題】

対象事業所での取り組みは、まだスタート間もないことから十分なサンプル調査や動向は、今後の研究で並行しながら更に深い調査を進めるものとする。

しかし、何らかの障害により障害児受給者証の交付を受けた児童もその保護者も一人一人の QOL を高め、将来へ向けて心身ともに成長する姿を思い描いている。今後は更に放課後等デイサービスでは児童、保護者、学校、地域と連携し一人一人へのアプローチと成果が求められることは必須であると考えます。